

【日本の大学】第 58 回——山口大学：長州藩の伝統、チャレンジ精神

山口大学は、本州の西端山口県にあり、学生数 1 万人超、9 学部 8 研究科からなる国立の総合大学である。淵源は 200 年以上前にさかのぼり、長州藩（現在の山口県）の藩士である上田鳳陽によって 1815 年に創設された私塾「山口講堂」を源流としている。

長州藩は薩摩藩と並んで明治維新を成し遂げた藩であり、大学では、長州にはそうした伝統を受けて新たな世界へのチャレンジ精神に満ちた独特の風土がある、としている。その精神は「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」の創造、という大学の基本理念に受け継がれており、教育・研究・社会貢献という 3 本の矢によって地域、日本そして世界の発展に貢献することを目指している。

以下、山口大学のホームページなどから大学の歴史や現状をみてみよう。

「山口講堂」は山口明倫館、山口中学校、山口高等中学校へと引き継がれ、山口高等学校（1894 年）となった。その後山口高等商業学校（1905 年）—山口経済専門学校（1944 年）へとつながるとともに、1919 年には山口高等学校が再度、創設された。この山口高等学校が新制の山口大学では文理学部の母体となった。



吉田キャンパス正門

文理など 5 学部で発足

大学スタート時には、文理学部のほか、教育学部、経済学部、工学部、農学部の計 5 学部だった。

文理学部からは、1966 年教養部が分かれたが、全学部の 1 年次の共通教育を担う共通教育センターを設置（1996 年）したことに伴って教養部は廃止となった（共通教育センターは 2002 年に廃止）。文理学部は 1978 年に人文学部と理学部に分かれて現在に至っている。人文学部には 1985 年に修士課程の大学院人文科学研究科が新設され、地域文化・言語文化の 2 専攻が置かれた。更に、2001 年には博士課程の東アジア研究科が開設されている。また、2016 年には、学部と大学院の改組が実施されて、学部はそれまでの 2 学科が 1 学科に、大学院は 2 専攻が 1 専攻に変わった。人文学科の中には現在、哲学、歴史学、社会学、日本・中国言語文学、欧米言語文学の 5 コースがある。

理学部は当初、数学科、物理学科、化学科、生物学科と地質学鉱物科学科の 5 学科で発足した。その後、大学院（修士課程）の設置や、共通講座として基礎情報講座が増設されるなどの強化が図られた。現在は、数理科学科、物理・情報科学科、生物・化学科、地球圏システム化学科の 4 学科からなっており、数理科学、物理学、化学、生物学、地球科学、情報科学という理学の代表的な専門分野の基礎を学ぶことができる。また、2016 年には、理系大学院の再編が推進されて、理・工・農学系専攻を統合した「創成科学研究科」が新設されている。

教育学部は明治時代の初め、1874 年に設立された山口県教員養成所から始まった歴代の師範学校を受け継いでおり、1943 年設立の山口師範学校と、1944 年設立の山口青年師範学校へとつながっている。この二つの師範学校が集まって 1949 年に教育学部として発足した。その際、光分校、防府分校も置かれ、附属として山口と光の小中学校が設置されている。（分校は 1957 年と 60 年に廃止）現在は、五つの教育コースと附属教育研究施設である教育実践総合センター、六つの附属学校からなっている。5 コースとは、小学校教育、幼児教育、特別支援教育、情報教育、教科教育である。

経済学部は、1905 年に設立された山口高等商業学校からの伝統がつながっている。現在、経済学科、経営学科、観光政策学科の 3 学科があり、「社会に貢献しうる実践的経済人の育成」を目指している。



福利厚生施設 (FAVO)

工学部は、1939年に設置された宇部高等工業学校からつながっている。現在、機械工学、社会建設工学、応用化学、電気電子工学、知識情報工学、感性デザイン工学、循環環境工学の7学科で構成し、各学科に共通する部分の教育を担当する工学基礎講座がある。学部学生の約7割が大学院に進学する状況を踏まえて、学士、博士前期課程の連続性に配慮した学科、専攻の編成をし、学部での大学院科目の先取り履修制度などによる6年一貫教育を推進している。

農学部の源流は、1883年に設置された山口栽培試験場農事講習会とされている。その後、山口農学校（1885年）—山口県農学校（1895年）などと形を変えながら、農学部へとつながっている。現在は、食料生産と環境保全に取り組む生物資源環境学科と、微生物や動植物の生命科学に挑む生物機能学科の2学科があり、それぞれの学科の強みを生かしながら、教育・研究を行っている。関連施設としては地球温暖化に伴う諸問題とそれによって引き起こされる課題について研究する「中高温微生物研究センター」や学部隣接する「附属農場」、制御された栽培環境下で技術開発などを実施する「植物工場」がある。

鹿児島大と共同の獣医学部

1944年に設立された山口高等獣医学校から、山口大学発足時に農学部獣医学科となった獣医学教育の伝統は、学部6年制への移行などを経て2012年に大学8番目の学部となった。これが九州南端の鹿児島にある鹿児島大学と相互に教育研究資源を有効活用する共同獣医学部である。共同学部は全国初の試み。両大学の学生は、1年次には双方の科目を履修でき、獣医学の基礎となる学問の知識や実験・実習動物の生命倫理などを理解するなど38単位の取得をする。2年次から5年次では、共通科目と個別科目からなる教育を受講、共通科目では双方向システムを使用して同一内容を受講する。4～6年次にはより発展的な専修教育科目を履修し、動物生命科学専修、病態制御学専攻などのコースを選択し、各専修に関して演習、卒業論文、特別講義や特別実践を履修する。

医学部ができたのは1964年である。1944年にできた前身の県立医学専門学校が第2次大戦後、県立医科大学となり、64年に県から国に移管されて山口大学医学部医学科に引き継がれたものだ。1967年には附属病院が移管され、2000年には保健学科が加わり、看護学専攻と検査技術科学専攻を配して現在に至っている。



大学病院（小串キャンパス）

9番目の学部として2015年に創設されたのが国際総合科学部である。同学部は、特定の専門分野の重要性を尊重しながら、現代社会の至る所に潜んでいる様々な壁の存在を問題視し、その壁を越えていくことを目指す。文系、理系の枠を超えた幅広い知識を持ち、日本語・英語をツールとして高いコミュニケーション能力とデザイン思考による課題解決能力を持つグローバル・スペシャリストを養成する。

具体的には現代社会を積極的に生きているために重要な2領域に関連する基盤的な知識と技能を習得する。一つは「グローバル化」。英語力だけでなく深い意味でのコミュニケーション能力を身につける。もう一つは「サイエンス」。物理学や化学といった自然科学だけでなく、人文・社会科学を含めた学問一般について、そのつながりを理解し、自らが課題を解決するためにつながり、新たな価値を創造していく。

大学では、共同獣医学部と国際総合科学部以外の7学部で、共通教育の授業を必修科目としている。共通教育科目としては、人文教養・社会教養・自然教養・学際的教養の基本的な考え方を修得する「一般教養科目」、英語力を身につける「英語」の科目、基本的な学習ス

キル・生活スキルを身につける「教養コア科目」がある。



大学病院屋上ヘリポート

知財、データを重視

また、2013年からは理系・文系すべての学部学生が「知的財産教育」を1年次の必修科目としている。学生たちが今後社会に出て必要不可欠とされる知的財産の意識（他者の知的財産を尊重するマインド、自己の知的財産の適切な保護と活用を図るマインドなど）を持って活躍する人材、知的財産にかかわる問題に遭遇した際に、状況を把握して適切な判断や対応ができる人材や知財戦略を組み立てることができる人材を養成することを目指している。更に、2018年からは全学部学生の必修科目として、セキュリティ、AI、ロボティクス、ビッグデータ分野などの数理・情報技術分野に関わる「データサイエンス」も開講している。

キャンパスは山口市内にある吉田キャンパスと、宇部市内にある2か所（小串キャンパスと常盤キャンパス）の3カ所に分かれている。大学本部のある吉田キャンパスは医学部と工学部に属する1年次の学生が学ぶほか、他の7学部の学生が学ぶ。小串キャンパスは2年次以降の医学部生が学ぶ。常盤キャンパスは2年次以降の工学部の学生が学ぶ場である。

学生の海外留学や外国人学生の受け入れを支援・推進する組織として留学生センターが

ある。半年や1年の協定校への交換留学やサマープログラムへの派遣、海外語学研修などを実施している。国際交流協定を結んでいるのは、36 各国・地域の 172 機関に上る。(2021 年 5 月現在) 外国人留学生への日本語・日本事情科目の提供や生活・就学支援も行っており、イベントの実施やボランティア活動の推進などを通じてキャンパスでの日本人学生と外国人留学生の交流も促進している。2021 年 5 月現在、留学生は 32 各国・地域の 359 名となっている。



今年の卒業式にて

学生数は、学部生が 8624 人、大学院生が 1419 人の計 10043 人。教職員数は 3972 名である。(以上 2021 年 5 月現在)

学長は 2022 年 4 月に谷澤幸生氏が就任した。任期は 4 年間。山口大学医学部卒、大学院医学研究科で医学博士号を取得。大学院医学系研究科教授や医学部長を歴任し、2020 年 4 月から副学長。

日文：滝川 進

写真：山口大学 HP & FaceBook